

— 資料編 —

## 亀ヶ岡石器時代遺跡・田小屋野貝塚植栽調査 概要報告

### 概要

亀ヶ岡石器時代遺跡、田小屋野貝塚の台地上は農地や住宅地に利用されていた土地で、古代から残る大木や名木等はない。人の手の入った2～3次林であり、両遺跡共に植生は似ている。

亀ヶ岡石器時代遺跡の湿地帯には、ヨシ、アシ類が密生し実生樹木が繁茂しており荒廃した印象である。地形図を見ないと湿地帯と気付かない。水の流入・流出について調査する必要がある。また、亀ヶ岡石器時代遺跡の現在の駐車場周辺には近年植栽されたシラカバ林がある。

田小屋野貝塚は亀ヶ岡石器時代遺跡よりヤナギ類が多く見受けられる。

かつての住宅地の周りには、園芸種の高中低木、草本類が見受けられる。各宅地の境界を示すように南北方向に生垣類や低木類、クロマツ林が植栽されている箇所がある。

### 現地で見られた樹種

針葉樹	アスナロ、イチイ、カイヅカイブキ、クロマツ、スギ、ヒノキ モミノキ等
広葉樹	イタヤカエデ、モミジ類、クリ、クルミ類、シラカバ、シロダモ、ネムノキ、ウメ、カキノキ、カリン、ケヤキ、ブナ、コブシ類、サクラ類、トチノキ、ナナカマド、ミズナラ、カシワ、ニセアカシア ヤナギ類等
中低木・その他	ウツギ類、グミ類、クワ類、ニワトコ、マサキ、ムクゲ、ツゲ、ヒメリンゴ、ツバキ類、アジサイ類、ツツジ類、アケビ、クズ、フジ、クマザザ、ヨシ、アシ等

### 法面の植栽について

法面についても亀ヶ岡石器時代遺跡、田小屋野貝塚共に植生は近似している。特に、スギ、クロマツの大木が目につく。比較的、区域によって優先する樹種がはっきりしている。これは、区域毎に伐採され植林した時期に関係するものと思われる。

### 法面で見られた樹種

針葉樹	クロマツ、スギ等
広葉樹	イタヤカエデ、モミジ類、クリ、クルミ類、ケヤキ、ニセアカシア、 ミズナラ、ヤナギ類等
中低木・その他	ウツギ類、ニワトコ、アケビ、クズ、フジ、クマザザ等

■ 植栽調査 亀ヶ岡石器時代遺跡

※ 記号は P91・94 に対応

記号	名称	規格			数量		備考
		H	C	W			
1	イチイ	11.0	0.65	6.0	33.0	本	全50本の内2/3伐採
	モミ、イタヤカエデ	11.0	0.65	6.0	20.0	本	全30本の内2/3伐採
	シラカバ	10.0	0.5	4.0	4	本	保存
	クマザサ	-	-	-	-	-	林床整理
	ナナカマド	-	-	-	-	-	保存
2	モミ	11.0	0.55	-	10	本	
	イチイ	11.0	0.55	-	3	本	
	ケヤキ	11.0	0.55	-	1	本	保存
3	モミ、イチイ	11.0	0.55	-	26	本	全40本の内2/3伐採
	スギ	7.0	0.25	-	7	本	全10本の内2/3伐採
4の1	シラカバ	11.0	0.4	-	140	本	
4の2	イチイ、モミノキ、シラカバ、ネムノキ、クロマツ(実生)	6.0~11.0	-	-	830	m2	水路際
5	ブナノキ、イチイ、モミノキ	-	-	-	1,670	m2	
6	クリ	9.0	-	-	5	本	保存
7	カエデ類	3.0	-	-	8	本	
	ニワトコ	2.0	-	-	3	本	赤い実の木
	実生の中高木	2.0	-	-	10	本	
	ヨシ、アシ類	-	-	-	1,420	m2	湿地内
8	イタヤカエデ	4.5	-	-	3	本	
	ムクゲ	4.5	-	-	20	本	
	五葉のアケビ	-	-	-	-	本	
9	クリ	12.0	-	8.0	1	本	保存
10	サクラ類	-	-	-	3	本	
	クロマツ	-	-	-	2	本	
	カキノキ	-	-	-	1	本	
	イタヤカエデ	-	-	-	2	本	
	グミ類	-	-	-	3	本	
11	クロマツ	6.0	0.8	5.0	4	本	
	サクラ類	4.5	0.6	4.0	2	本	
12	ナラ類	11.0	1.1	8.0	1	本	
	クワ類	5.0	0.35	3.0	2	本	
	スギ	5.0	0.4	2.0	2	本	
13	ウメ	-	-	-	1	本	
	サクラ類	-	-	-	3	本	
	フジズル	-	0.4	-	3	本	
14	トチノキ	-	-	-	1	本	保存
15	クルミ類	10.0	0.65	2.0	10	本	
	イタヤカエデ	8.0	0.5	6.0	2	本	
	サクラ類	5.0	0.5	4.0	1	本	
	スギ	8.0	0.65	8.0	1	本	
16	クロマツ	7.0	0.5	4.0	7	本	
	モミジ類	6.0	0.5	6.0	3	本	
17	クロマツ	5.0	0.65	4.0	10	本	
18	クルミ類	3.0	0.15	3.0	4	本	
	イタヤカエデ	10.0	0.8	5.0	2	本	
	イタヤカエデ	4.0	0.2	2.0	5	本	
	クワ類	4.0	0.15	3.0	4	本	
	ナラ類	10.0	1.0	10.0	1	本	
	下枝落とし	-	-	-	-	本	
20	アスナロ	12.0	0.8	6.0	1	本	
	トチノキ	6.0	0.5	4.0	1	本	保存
	モミジ類	6.0	0.7	6.0	1	本	
	シロダモ	5.0	0.5	4.0	1	本	
21	ツタ類(サルナシ)	-	-	-	-	本	
22	クルミ類	6.0	0.55×2	4.0	1	本	
	ノムラモミジ	4.5	0.7	3.0	1	本	

記号	名称	規格			数量		備考
		H	C	W			
23	イタヤカエデ	-	-	-	1	本	保存
	ケヤキ	-	-	-	2	本	保存
	ヤマグワ、グミ類	4.0	0.2	3.0	8	本	伐採し眺望を良くする
24	カキノキ	5.0	0.35	4.0	1	本	
	カイズカイブキ	3.5	0.35	2.0	1	本	
	イタヤカエデ	3.0	0.2	3.0	3	本	
	ケヤキ	5.0	0.3	3.0	2	本	
25	ナナカマド	5.0	0.4	3.0	3	本	
	カリン	5.0	0.4	3.0	2	本	
	サクラ類	6.0	0.5	4.0	6	本	
	サルナシ	6.0	0.5	3.0	1	本	
	スギ	4.0	0.3	2.0	1	本	
26	スギ	20.0	-	8.0	1	本	伐採し眺望を良くする
27	スギ	8.0~13.0	-	3.0~7.0	13	本	
	クロマツ	11.0	0.8	4.0	5	本	
28	クロマツ	4.0	0.8	4.0	1	本	
29	マサキ	3.0	0.1	1.2	20	本	
	グミ類	6.0	0.7	5.0	1	本	
	サクラ類	5.0	0.7	4.0	1	本	
	クロマツ	5.0	0.4	3.0	4	本	
	コブシ類	4.0	0.4	4.0	2	本	
30	シダレモミジ	3.0	0.5	4.0	1	本	
31	クロマツ	7.0	0.8	4.0	4	本	
32	モミジ類	4.0	0.6	4.0	1	本	
33	スギ	18.0	1.1	6.0	20	本	間伐
34	低木	1.8	-	1.0	8	m	伐採
35	クロマツ	7.0	1.1	6.0	7	本	
36	ヒノキ類	5.0	0.4	2.0	4	本	
	モミジ類	4.0	0.3	3.0	1	本	
	クロマツ	4.0	0.5	3.0	1	本	
37	イタヤカエデ	8.0	1.2	8.0	2	本	
法面							
A	クロマツ、スギ、イタヤカエデ、ケヤキ、ニセアカシア						
B	ヤナギ、ミズナラ						
C	スギ、クロマツ、ケヤキ、イタヤカエデ						
D	クロマツ						
E	スギ、ケヤキ、ニセアカシア						
F	スギ						
G	クロマツ、イタヤカエデ、クミ、ニセアカシア、ヤナギ						
H	スギ、ニセアカシア、クミ類						
I	ニセアカシア、クミ類(カエデ無し)						
J	スギ主体、ケヤキ、クリ、ニセアカシア、ミズナラ						

## ■ 植栽調査 田小屋野貝塚

記号	名称	規格			数量		備考
		H	C	W			
A	オニグルミ、イタヤカエデ、アケビ、フジ、クマザサ	-	-	-	200	m2	林床を整理
B	オニグルミ、ミズナラ、クマザサ、フジ、カシワ、イタヤカエデ列植	-	-	-	420	m2	法面保護が必要
C1	ニセアカシア	15.0	0.9	8.0	5	本	法面部
	オニグルミ	14.0	1.6	10.0	1	本	
C2	クリ類	8.0	1.2	6.0	1	本	保存

記号	名称	規格			数量		備考
		H	C	W			
D	クリ	3.5	0.2	3.0	2	本	
	オニグルミ	3.5	0.2	3.0	2	本	
	イタヤカエデ	3.5	0.3	4.0	4	本	
	フジズル	-	-	-	1	本	
	ケヤキ	6.0	0.8	6.0	1	本	
	ツゲ	3.5	0.7	4.0	1	本	
E	ヤナギ	13.0	0.9	8.0	15	本	
F	スギ	17.0	1.1	8.0	7	本	法面部
	クロマツ	15.0	1.0	8.0	20	本	法面部
G	クロマツ	13.0	1.2	8.0	25	本	クルミ類、カシワ等含む
H	クロマツ	7.0	0.8	4.0	8	本	
	イチイ	6.0	0.7	4.0	1	本	
	サクラ	6.0	0.8	5.0	1	本	
	ツツジ類	2.5	0.4	3.0	1	本	
I	マツ類	5.0	0.8	4.0	3	本	
	ノムラモミジ	6.0	0.5	4.0	1	本	
	ナナカマド	4.0	0.5	2.5	1	本	
	ツゲ	3.0	0.7	3.0	3	本	
	フジズル	-	-	-	5	本	
J	マツ類	3.0	0.6	2.0	6	本	
	イチイ	3.0	0.4	1.5	1	本	
	ツツジ類	1.5	0.3	1.5	7	本	
	モミジ類	2.5	0.7	3.0	2	本	
	ツバキ	2.0	0.3	1.5	3	本	
	ヒメリンゴ	5.0	0.7	4.0	1	本	
K	マサキ	3.0	0.3	2.0	20	本	
	ナナカマド	5.0	0.5	3.0	1	本	
	ヒメリンゴ	3.5	0.4	2.0	4	本	
L	ケヤキ	12.0	1.6	10.0	1	本	
	ナナカマド、モミジ類	5.0	0.6	4.0	5	本	
	ツツジ類	2.0	-	-	15	本	
M	クロマツ	18.0	1.2	8.0	20	本	
	ツツジ類	3.0	-	-	40	本	
N	ツツジ類	0.8	1.0	-	85	m	
O	ケヤキ類	7.0	0.7	4.0	4	本	
P	ヤナギ類	16.0	1.1	8.0	15	本	
Q	ウツギ類	2.5	0.2	2.0	3	本	
R	ヤナギ類	12.0	1.0	5.0	15	本	
S	ヤナギ類	11.0	1.0	4.0	15	本	
T	マツ類	3.0	0.2	1.0	368	本	ピッチ1.5m(830m2CAD計測)
U	オニグルミ	7.0	0.5	7.0	17	本	
V	スギ、クリ、クロマツ、ニセアカシア、クマザサ	18.0	-	-	-	本	保存
W	ヤナギ類、クルミ類、クロマツ	6.0~10.0	-	-	-	本	ピッチ1.5m
X	ウチギ類	2.0	-	2.0	20	本	
	ツツジ類	1.5	-	1.0	15	m	
Y	ニセアカシア、クロマツ、イタヤカエデ、クマザサ	10.0~18.0	-	-	-	本	
Z	ヤナギ	12.0	0.8	7.0	10	本	
	ミズナラ	15.0	0.8	6.0	3	本	
	クズ刈り、下草刈り	-	-	-	420	m2	
法面							
1	クロマツ						
2	ヤナギ、ニセアカシア、ニワトコ						
3	クロマツ、ニセアカシア、ニワトコ						
4	ヤナギ、ニセアカシア、ニワトコ						
5	クロマツ、スギ、クリ、イタヤカエデ						

# 史跡亀ヶ岡石器時代遺跡・田小屋野貝塚保存整備検討委員会要綱

(趣旨)

**第1条** この告示は、史跡亀ヶ岡石器時代遺跡・田小屋野貝塚保存整備検討委員会（以下「委員会」という。）の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

**第2条** 委員会は、史跡亀ヶ岡石器時代遺跡及び田小屋野貝塚の次に掲げる事項について検討し、つがる市教育委員会（以下「教育委員会」という。）に対して意見を述べるものとする。

- (1) 史跡及びその周辺（以下「史跡等」という。）の保存、活用、整備方法に関する事項
- (2) 史跡等の整備計画に関する事項
- (3) 史跡等の調査及び研究に関する事項

(組織)

**第3条** 委員会は、委員8人以内で組織し、学識経験者その他教育委員会が適当と認める者のうちから教育委員会が委嘱する。

(任期)

**第4条** 委員の任期は、委嘱の日からその翌年度末までとする。ただし、再任を妨げないものとする。

- 2 委員に欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

**第5条** 委員会に委員長及び副委員長各1人を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選により定める。

- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総括する。

- 4 委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、副委員長がその職務を代理する。

(会議)

**第6条** 委員会の会議（以下「会議」という。）は、必要に応じて教育委員会教育長が招集し、委員長が議長となる。

- 2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ成立しない。ただし、同一案件について再度招集し、なお半数に満たないときはこの限りでない。

- 3 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

- 4 委員長が必要と認めたときは、会議に委員以外の者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(秘密保持)

**第7条** 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

(庶務)

**第8条** 委員会の庶務は、教育部文化財課が行う。

(補則)

**第9条** この告示に定めるもののほか必要な事項は、教育委員会が別に定める。

## 附 則

(施行期日)

- 1 この告示は、令和4年4月1日から施行する。

(史跡亀ヶ岡石器時代遺跡等調査指導委員会要綱の廃止)

- 2 史跡亀ヶ岡石器時代遺跡等調査指導委員会要綱（平成29年教育委員会告示第13号）は、廃止する。

## 引用・参考文献

- 青森県教育委員会 2020 『青森県遺跡地図』
- 青森県農林部農地計画課 1994 『土地分類基本調査 金木』
- 佐藤傳蔵 1896a 「陸奥国亀ヶ岡第二回発掘報告」『東京人類学会雑誌』11 巻 124 号 東京人類学会
- 佐藤傳蔵 1896b 「陸奥国亀ヶ岡石器時代遺跡地勢地質及び発見品」『東京地学協会報告』18 巻 2 号  
東京地学協会
- つがる市 2010 『つがる市都市計画マスタープラン』
- つがる市 2016 『第 2 次つがる市総合計画（平成 28 年度～平成 37 年度）』
- つがる市 2020a 『第 2 期つがる市地域活力創生総合戦略』
- つがる市 2020b 『つがる市景観計画』
- つがる市 2022 『つがる市防災ハザードマップ』
- つがる市教育委員会 2009 『史跡亀ヶ岡石器時代遺跡・田小屋野貝塚保存管理計画書』
- つがる市教育委員会 2015 『つがる市合併 10 周年記念冊子 つがる市の環境変遷と縄文遺跡』
- つがる市教育委員会 2016 『田小屋野貝塚総括報告書』つがる市遺跡調査報告書 9
- つがる市教育委員会 2019 『史跡亀ヶ岡石器時代遺跡総括報告書』つがる市遺跡調査報告書 11
- つがる市教育委員会 2021a 『史跡亀ヶ岡石器時代遺跡・田小屋野貝塚保存活用計画書』
- つがる市教育委員会 2021b 『第 2 期つがる市教育振興基本計画』
- 文化庁文化財部記念物課 2005 『史跡等整備のてびき I～IV』
- 文化庁文化財部記念物課 2015 『史跡等・重要文化的景観マネジメント支援事業報告書』